

令和7年度 学校評価自己評価表

世羅町立甲山小学校

a ミッション	資質・能力の育成に向け主体的に学び続ける教職員集団による学校づくりの推進	a ビジョン (子ども達に育てたい資質・能力) アイデンティティ・自発性・コミュニケーション能力
		(学校教育目標) 夢や目標をもち、主体的に学び続ける児童の育成 (めざす子供像) ○資質・能力を身に付け、主体的に学び続ける子供 ○自他の良さや可能性を知り、他者と協働できる子供 ○基本的な生活習慣を身に付け、健康や体力等を増進する子供 (めざす教職員像) ○確かな授業力を持ち、資質・能力を育成する教職員 ○実態把握をし、児童の力を最大限に引き出せる教職員 ○主体的に学校経営に参画する教職員

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画	
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ	
確かな学力	主体的に学び、学力を身に付けている児童の育成 ○資質・能力の育成を目指して、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を実現する。	・単元内自由進度学習の実践を深化させるとともに、一斉学習の中にも単元内自由進度学習の要素を取り入れ、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る。 ・キャリアログを活用し、全教育活動の中で資質・能力を育成する。(単元内自由進度学習・運動会・学習発表会・マフソン大会・かるた大会・六年生を送る会)	・全国学力学習状況調査、標準学力調査における学年平均が全国平均を上回る割合。 ・教師アンケート(授業観察)による児童の姿についての肯定的評価。 ・児童アンケートによるアイデンティティ、自発性、コミュニケーション力についての肯定的評価の割合。	90% 4段階評価における3以上 85%									
豊かな心	自他の良さや可能性を認識し、協働できる児童の育成 ○課題意識をもち、創造的・協働的に問題を解決する児童会活動の推進	・「自己理解・他者理解」を進めるために、総合単元道徳に取り組む。 ・主体的に生活上の課題(あいさつ・返事・MUGON3を含む)を解決するために、ポイント制やゲーム形式など具体的な仕掛けをして取組を行う。	・教職員アンケート「学校課題を解決するために計画的に授業づくりを進めたか」 ・児童アンケート「月目標を達成するために自分から進んで頑張ることができたか」	80% 90%									
健やかな体	主体的に健康や体力等を増進する児童の育成 ○課題意識をもち、基本的な生活習慣の確立に取り組む児童の育成	・新体力テストの柔軟性に重点を置いた取組を進め、レベルアップを図る。 ・早寝・早起き・朝ごはん等について毎月生活チャレンジ習慣を設定して取り組む。	・体力テストの柔軟性(長座体前屈)の記録で、全国平均を上回る学年(男女別)の割合 ・生活チャレンジの「早起き」のパーフェクトの割合	60% 85%									
信頼される学校	創立150周年の歴史と伝統を誇る児童が育つ学校づくりの推進 ○教職員がやりがいをもつ学校経営の推進	・教育活動にかかわるサポートスタッフを増やし、地域と共に150年の歴史と伝統を誇る児童の育成を行う。 ・教育公務員としての自覚をもって職務に当たり、組織的な対応がとれるように、きめ細やかな報連相を行い、学校運営を行う。	・学校教育活動へのサポートスタッフとしての参加者が延べ100名を超える。 7月達成目標50名 1月達成目標100名 ・教職員アンケート「組織的な報連相を行っている」という項目の肯定的評価の割合	100% 100%									

【自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成)
B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80
D: (できていない)<60

【外部評価】
イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: わからない。